

(H27グループ化:メロン)

平成27年度 農薬登録における作物グループ化検討試験明細書

(試験期間 27年8月 ～ 27年11月)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型

- ①ジメトモルフ(フェスティバルC)水和剤
- ②フェンピロキシメート(ダニトロン)フロアブル
- ③ペンチオピラド(アフェット)フロアブル
- ④トラロメトリン(スカウト)フロアブル
- ⑤シベルメトリン(アグロスリン)乳剤
- ⑥ピフェナゼート(マイトコーネ)フロアブル
- ⑦エマメクチン安息香酸塩(アフアーム)乳剤
- ⑧チアメトキサム(アクタラ)顆粒水溶剤
- ⑨チオファネートメチル(トップジンM)水和剤
- ⑩ピリダベン(サンマイト)フロアブル
- ⑪T P N(ダコニール1000)
- ⑫キノキサリン(モレスタン)水和剤
- ⑬テトラジホン(テデオン)水和剤
- ⑭ダイアジノン(ダイアジノン)乳剤40
- ⑮キャブタン(オーソサイド)水和剤80

(2) 有効成分名及び成分含有率

- ①ジメトモルフ 15.0%, 塩基性塩化銅 58.8%(銅として35.0%)
- ②フェンピロキシメート 5.0%
- ③ペンチオピラド 20.0%
- ④トラロメトリン 1.4%
- ⑤シベルメトリン 6.0%
- ⑥ピフェナゼート 20.0%
- ⑦エマメクチン安息香酸塩 1.0%
- ⑧チアメトキサム 10.0%
- ⑨チオファネートメチル 70.0%
- ⑩ピリダベン 20.0%
- ⑪T P N 40.0%
- ⑫キノキサリン 25.0%
- ⑬テトラジホン 18.0%
- ⑭ダイアジノン 40.0%
- ⑮キャブタン 80.0%

(3) 被験物質のLot No.

- ①18.10-HK404Y ②18.10.C4L02 ③16.10 42Y60005
- ④17.10 HCL-01SN ⑤18.10 KAA351 ⑥19.10-ODK020
- ⑦18.10 4904N ⑧17.10 SIK4BWG006 ⑨18.10 TDK-723
- ⑩17.10-0BI 114 ⑪19.10 1EJFOS ⑫17-10 05007
- ⑬19-10 05004 ⑭18.10-61262F ⑮18.10-7B009F

2. 農作物名

メロン

品種名

雅初夏207

3. 試験実施機関名

一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地

茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名

難波孝志, 川北充彦, 有波友紀, 森田恭充, 櫻井昭寿, 長岡広行,
沼田京太, 及川雅彦, 八丁昭龍, 後藤直人, 丸山直哉, 岡本陽子, 鈴木由子。

5. 土性

砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 (○を付す)

減水深

— cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

(別紙としても構いません)

別紙1に記載

7. 栽培概要

播種期, 移植期, 施肥の種類・量・時期, 樹齡, 栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a), 水管理等
被覆資材(茶は寒れい紗番号), いちご・おうとう等の被覆時期, 茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別

施設

有袋・無袋の別

—

播種:平成27年7月23日, 定植:8月17日, 立体栽培(心止め) 人工交配:9月6日~11日

栽植密度:畝間180cm, 株間50cm, 条間50cm, 2条植え (マルチ被覆), 約2220株/10a

施肥(10a当たり):

平成27年8月17日, 菜々とく有機(10-7-5) 50kg, 過燐酸石灰(0-17.5-0) 106kg

9月12日, 20日, くみあい尿素複合液肥1号(12-5-7) 200倍

その他の管理は, 慣行に従った。

収穫適期(適期):10月下旬

8. 生育ステージ

—

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

8月14日(育苗期) ハチハチフロアブル 2000倍・モスピラン顆粒水溶剤 8000倍・ランマンフロアブル 2000倍

8月21日 スターマイトフロアブル 2000倍

8月26日 ライメイフロアブル 2000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍

9月 1日 ランマンフロアブル 2000倍・ボリハリン水和剤 1500倍・サンヨール 500倍

9月 9日 ライメイフロアブル 2000倍・ロブラル水和剤 1000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍

9月17日 スミレックス水和剤 1000倍・アドマイヤーフロアブル 4000倍

9月30日 フルビカフロアブル 2000倍

10月14日 サンヨール 500倍・サッポール乳剤 2000倍

10月23日 ウララDF 2000倍・コルト顆粒水和剤 4000倍

9月4日, 9月18日, 10月1日 ボリキシンAL水溶剤 10倍塗布

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

処理区A:28.8㎡(8.0m×1.8m×2畝) 64株, 処理区B:28.8㎡(8.0m×1.8m×2畝) 64株

処理区C:28.8㎡(8.0m×1.8m×2畝) 64株, 処理区D:28.8㎡(8.0m×1.8m×2畝) 64株

処理区E:21.6㎡(3.0m×1.8m×4畝) 48株, 無処理区F:29.7㎡(16.5m×1.8m×1畝) 66株

(2) 施設の場合, 面積・容積・高さ

処理区A~E 面積:874㎡, 容積:2840.5㎡, 高さ:4.5m

無処理区F 面積:116.2㎡, 容積:355.2㎡, 高さ:3.4m

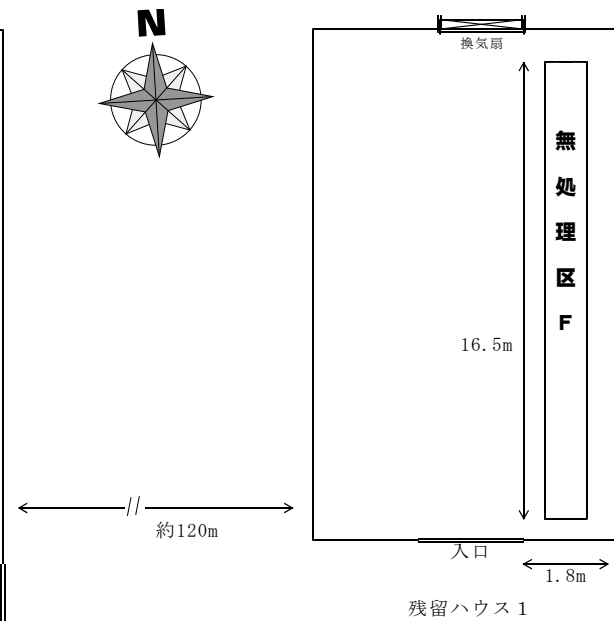
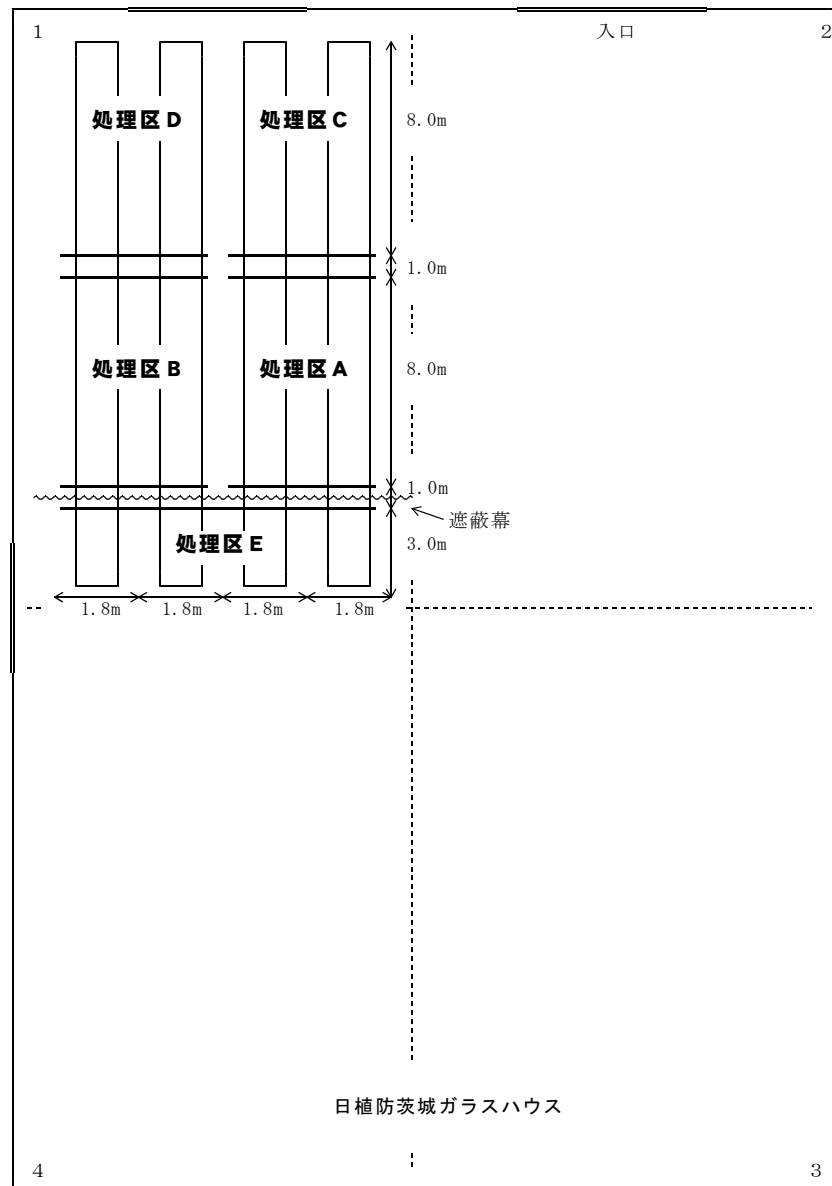
(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてもかまいません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区の間距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所



区 分 処理月日	A 区	B区	C区	D区	E区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H27年9月28日	スカウト						2000倍	283L	4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
	アグロスリン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
10月 5日	スカウト						2000倍	283L	4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
	アグロスリン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
10月12日	フェスティバルC						1000倍	283L	8.10g /8.1L/28.8㎡	9.00g/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
	ダニトロン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
	アフエット						2000倍		4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L		
	スカウト						2000倍		4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L		
	アグロスリン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
10月19日	フェスティバルC						1000倍	283L	8.10g /8.1L/28.8㎡	9.00g/9.0L	成熟期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
	ダニトロン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
	アフエット						2000倍		4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L		
	スカウト						2000倍		4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L		
	アグロスリン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
10月26日	フェスティバルC						1000倍	283L	8.10g /8.1L/28.8㎡	9.00g/9.0L	収穫初期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
	ダニトロン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
	アフエット						2000倍		4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L		
	スカウト						2000倍		4.05ml/8.1L/28.8㎡	4.5ml/9.0L		
	アグロスリン						1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細， 処理時の環境条件等	処理時刻，処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間，処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H27年9月28日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に，一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 10：25 ～ 10：34	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月 5日		時刻 10：23 ～ 10：32	天候：曇り（日中曇りのち晴れ），風の影響なし。
10月12日		時刻 10：16 ～ 10：25	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月19日		時刻 10：26 ～ 10：35	天候：晴れ（日中晴れのち曇り），風の影響なし。
10月26日		時刻 14：30 ～ 14：39	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。

- （1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- （2）備考

各回，薬液を多めに作製して散布した。なお，9月28日，10月5日は2剤，10月12日，19日，26日はそれぞれ5剤を混用して薬液を作製した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H27年10月12日		アクタラ				無処理	2000倍	280L	4.05g /8.1L/28.8㎡	4.50g/9.0L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
		トップジンM					1500倍		5.40g /8.1L/28.8㎡	6.00g/9.0L		
10月19日		アフアーム					1000倍	280L	8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L	成熟期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
		アクタラ					2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.50g/9.0L		
		トップジンM					1500倍		5.40g /8.1L/28.8㎡	6.00g/9.0L		
10月26日		マイトコーネ					1000倍	280L	8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L	収穫初期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
		アフアーム					1000倍		8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.0ml/9.0L		
		アクタラ					2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.50g/9.0L		
		トップジンM					1500倍		5.40g /8.1L/28.8㎡	6.00g/9.0L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細， 処理時の環境条件等	処理時刻，処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間，処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H27年10月12日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に，一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 10：30 ～ 10：39	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月19日		時刻 10：40 ～ 10：49	天候：晴れ（日中晴れのち曇り），風の影響なし。
10月26日		時刻 14：00 ～ 14：09	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。

（1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量

（2）備考

各回，薬液を多めに作製して散布した。なお，10月12日は2剤，10月19日は3剤および10月26日は4剤を混用して薬液を作製した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H27年 8月24日			モレスタン			無処理	2000倍	202L	2.90g /5.8L/28.8㎡	4.00g/8.0L	生育期 (草丈約45-50cm)	茎 葉 散 布
8月31日			モレスタン				2000倍	202L	2.90g /5.8L/28.8㎡	4.00g/8.0L	生育期 (草丈約1.1m)	茎 葉 散 布
9月 7日			モレスタン				2000倍	240L	3.45g /6.9L/28.8㎡	4.00g/8.0L	生育期 (草丈約1.75m)	茎 葉 散 布
9月14日			モレスタン				2000倍	260L	3.75g /7.5L/28.8㎡	4.00g/8.0L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎 葉 散 布
9月21日			モレスタン				2000倍	283L	4.05g /8.1L/28.8㎡	4.50g/9.0L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎 葉 散 布
9月28日			ダコニール1000				700倍	283L	11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
			モレスタン				2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.90g/9.8L		
10月 5日			ダコニール1000				700倍	283L	11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
			モレスタン				2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.90g/9.8L		
10月12日			ダコニール1000				700倍	283L	11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
			モレスタン				2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.90g/9.8L		
10月19日			サンマイト				1000倍	283L	8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.8ml/9.8L	成熟期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
			ダコニール1000				700倍		11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L		
			モレスタン				2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.90g/9.8L		
10月26日			サンマイト				1000倍	283L	8.10ml/8.1L/28.8㎡	9.8ml/9.8L	収穫初期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
			ダコニール1000				700倍		11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L		
			モレスタン				2000倍		4.05g /8.1L/28.8㎡	4.90g/9.8L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H27年8月24日	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 9：20 ～ 9：26	天候：曇り（日中曇り）、風の影響なし。
8月31日		時刻 13：30 ～ 13：36	天候：曇り（日中曇り）、風の影響なし。
9月 7日		時刻 10：25 ～ 10：33	天候：曇り（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
9月14日		時刻 11：25 ～ 11：33	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
9月21日		時刻 10：25 ～ 10：34	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。
9月28日		時刻 9：55 ～ 10：04	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
10月 5日		時刻 10：59 ～ 11：08	天候：曇り（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。
10月12日		時刻 9：19 ～ 9：28	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
10月19日		時刻 9：51 ～ 10：00	天候：晴れ（日中晴れのち曇り）、風の影響なし。
10月26日		時刻 15：21 ～ 15：30	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

- （1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- （2）備考

各回、薬液を多めに作製して散布した。なお、9月28日、10月5日および12日は2剤、10月19日および26日はそれぞれ3剤を混用して薬液を作製した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H27年9月21日				オーソサイド		無処理	400倍	280L	20.25g /8.1L/28.8㎡	22.50g /9.0L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎 葉 散 布
9月28日				ダイアジノン			700倍	280L	11.57ml/8.1L/28.8㎡	30.0ml/21.0L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
				オーソサイド			400倍		20.25g /8.1L/28.8㎡	52.50g/21.0L		
10月 5日				ダイアジノン			700倍	280L	11.57ml/8.1L/28.8㎡	30.0ml/21.0L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
				オーソサイド			400倍		20.25g /8.1L/28.8㎡	52.50g/21.0L		
10月12日				ダイアジノン			700倍	280L	11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L	果実肥大期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
				オーソサイド			400倍		20.25g /8.1L/28.8㎡	24.50g/9.8L		
10月19日				テデオン			500倍	280L	16.20g /8.1L/28.8㎡	19.60g/9.8L	成熟期 (草丈約1.9m)	茎葉散布（混用）
				ダイアジノン			700倍		11.57ml/8.1L/28.8㎡	14.0ml/9.8L		
				オーソサイド			400倍		20.25g /8.1L/28.8㎡	24.50g/9.8L		
10月26日				テデオン			500倍	280L	16.20g /8.1L/28.8㎡	18.00g/9.0L	収穫初期 (草丈約1.9m)	茎 葉 散 布

区 分 処理月日	処理方法の詳細， 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械），樹幹塗布，湛水散布時の水管理， 土壌混和時の深度・土壌水分，種子消毒時の水温・液比等		処理時刻，処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間，処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
				時刻	天候
H27年9月21日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル ：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に，一定の時間で全体へ均一に散布した。			時刻 9：35 ～ 9：44	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ），風の影響なし。
9月28日				時刻 10：05 ～10：14	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月 5日				時刻 13：35 ～13：44	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ），風の影響なし。
10月12日				時刻 9：35 ～ 9：44	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月19日				時刻 10：10 ～10：19	天候：晴れ（日中晴れのち曇り），風の影響なし。
10月26日				時刻 13：28 ～13：37	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には，処理区Eと処理区A，Bの間を高さ約1.9mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回，薬液を多めに作製して散布した。なお，9月28日，10月5日および12日は2剤，10月19日は3剤を，それぞれ混用して薬液を作製した。
9月28日および10月5日の薬液は，処理区Eと同時に作製した。

(H27グループ化:メロン)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H27年9月14日					オーソサイド	無処理	400倍	262L	14.25g /5.7L/21.6㎡	15.00g /6.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎 葉 散 布
9月21日					ダイアジノン		700倍	280L	8.57ml/6.0L/21.6㎡	10.0ml/7.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
					オーソサイド		400倍		15.00g /6.0L/21.6㎡	17.50g/7.0L		
9月28日					ダイアジノン		700倍	280L	8.57ml/6.0L/21.6㎡	30.0ml/21.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
					オーソサイド		400倍		15.00g /6.0L/21.6㎡	52.50g/21.0L		
10月 5日					ダイアジノン		700倍	280L	8.57ml/6.0L/21.6㎡	30.0ml/21.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
					オーソサイド		400倍		15.00g /6.0L/21.6㎡	52.50g/21.0L		
10月12日					テデオン		500倍	280L	12.00g /6.0L/21.6㎡	14.00g/7.0L	果実肥大期 （草丈約1.9m）	茎葉散布（混用）
					ダイアジノン		700倍		8.57ml/6.0L/21.6㎡	10.0ml/7.0L		
					オーソサイド		400倍		15.00g /6.0L/21.6㎡	17.50g/7.0L		
10月19日					テデオン		500倍	280L	12.00g /6.0L/21.6㎡	14.00g/7.0L	成熟期 （草丈約1.9m）	茎 葉 散 布

区 分 処理月日	処理方法の詳細， 処理時の環境条件等	処理時刻，処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間，処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H27年9月14日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル ：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に，一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 11：45 ～11：51	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
9月21日		時刻 10：03 ～10：10	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ），風の影響なし。
9月28日		時刻 10：15 ～10：22	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月 5日		時刻 13：50 ～13：57	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ），風の影響なし。
10月12日		時刻 10：00 ～10：07	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
10月19日		時刻 9：45 ～ 9：52	天候：晴れ（日中晴れのち曇り），風の影響なし。

- （1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- （2）備考

試験薬剤の散布時には，処理区Eと処理区A，Bの間を高さ約1.9mまでポリフィルムで遮蔽した。各回，薬液を多めに作製して散布した。なお，9月21日，28日および10月5日は2剤，10月12日は3剤を，それぞれ混用して薬液を作製した。9月28日および10月5日の薬液は，処理区Dと同時に作製した。

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
H27年10月27日	A－1	B－1				F (無処理)		F区 時刻：10:15 ～ 10:20 天候：晴れ B区 時刻：11:00 ～ 11:05 天候：晴れ A区 時刻：11:28 ～ 11:33 天候：晴れ	F→B→A	F：10個／14.7 kg B－1：5個／6.3 kg A－1：5個／6.2 kg	10月27日
10月29日	A－2	B－2	C－1					C区 時刻：9:20 ～ 9:25 天候：曇り B区 時刻：9:39 ～ 9:44 天候：曇り A区 時刻：9:55 ～ 10:00 天候：曇り	C→B→A	C－1：5個／6.4 kg B－2：5個／6.3 kg A－2：5個／6.3 kg	10月29日
11月 2日	A－3	B－3	C－2	D－1				D区 時刻：8:45 ～ 8:50 天候：雨 C区 時刻：9:05 ～ 9:10 天候：雨 B区 時刻：9:20 ～ 9:25 天候：雨 A区 時刻：9:40 ～ 9:45 天候：雨	D→C→B→A	D－1：5個／6.1 kg C－2：5個／6.4 kg B－3：5個／6.7 kg A－3：5個／6.5 kg	11月 2日
11月 9日			C－3	D－2	E			E区 時刻：9:04 ～ 9:09 天候：曇り D区 時刻：9:19 ～ 9:24 天候：曇り C区 時刻：9:40 ～ 9:45 天候：曇り	E→D→C	E：5個／6.8 kg D－2：5個／6.9 kg C－3：5個／6.9 kg	11月 9日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
H27年10月27日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
10月29日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
11月 2日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
11月 9日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因

- (1) 試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細。
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区境界部（南北）の株を除き、全体から大きさの揃った試料を鉢を用いて採取した。

- (2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥。
脱殻：すり箕の方法。調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた（試験区ラベル同梱）。梱包は試料調整室で1個ずつ包装紙で包み、ビニール袋に入れて段ボール箱に入れ、周りをエアクションで詰めた。

- (3) 試料送付先

分析機関： 一般財団法人残留農薬研究所

- (4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、 ヤマト運輸、冷蔵便で翌日午前中着で発送した。
輸送会社等

- (5) 備考

採取時は、清浄な手袋を装着して作業を行った。なお、手袋と鉢は試験区毎に交換した。

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所： 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件: 気温:平均気温(1 時間毎)

(27年)

[illegible]

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

薬剤処理区A～E(ガラスハウス1)

作物なし:	平成26年 8月27日	フロサイト 粉剤 40kg/10a, ネマトリンエース粒剤 20kg/10a
ししとう:	平成27年 5月 8日	アファーム乳剤1000倍・ベストガード 水溶剤2000倍・モレスタン水和剤3000倍
	5月15日	アファーム乳剤1000倍
	5月30日	モレスタン水和剤3000倍・アファーム乳剤1000倍
	6月 4日	オルトラン水和剤1000倍
	6月14日	イオウフロアブル500倍・アファーム乳剤1000倍・ベストガード 水溶剤2000倍・スピノエース顆粒水和剤2500倍
	6月26日	モレスタン水和剤3000倍・アクリメック1000倍
	5月25日, 6月1日, 8日, 15日, 22日	カスミンボルト 水和剤1000倍
作物なし:	8月 5日	トシヨウビクリン 30L/10a 全面点注

無処理区F(残留ハウス1)

トマト:	平成26年8月25日	フレバソフフロアブル5 500倍・カンタストライフロアブル1000倍・ダントツ水溶剤1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤2500倍
	8月26日	サンマイトフロアブル1000倍・アミスターオフティフロアブル1000倍
	9月 1日	フレバソフフロアブル5 500倍・カンタストライフロアブル1000倍・ダントツ水溶剤1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤2500倍
		モンカットフロアブル40 1000倍 1L/㎡灌注
	9月 3日	フレバソフフロアブル5 500倍・カンタストライフロアブル1000倍・ダントツ水溶剤1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤2500倍
	9月10日	フレバソフフロアブル5 500倍・カンタストライフロアブル1000倍・ダントツ水溶剤1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤2500倍
	9月17日	フレバソフフロアブル5 500倍・カンタストライフロアブル1000倍・ダントツ水溶剤1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤2500倍
		モンカットフロアブル40 1000倍 1L/㎡灌注
しゅんぎく:	10月 1日	ネマトリンエース粒剤 20kg/10a 全面土壌混和
	10月 3日	フォリオコート 1000倍・リゾレックス水和剤500倍
	10月 7日	ネキリエースK 3kg/10a 株元散布
	10月29日	アミスター20フロアブル2000倍・アファーム乳剤2000倍
	11月27日	アミスター20フロアブル2000倍・アファーム乳剤2000倍
作物なし:	平成27年1月20日	テロン 20L/10a 全面点注
さやいんげん:	3月30日	リゾレックス水和剤1000倍 1L/㎡土壌灌注・ライメイフロアブル1000倍 1L/㎡土壌灌注
	4月23日	アファーム乳剤1000倍・トレボン乳剤2000倍
	5月 4日	トップジンM水和剤1000倍・コルト顆粒水和剤2000倍
	5月18日	マテリナ水和剤1000倍・トップジンM水和剤700倍
	5月22日, 5月28日, 6月 5日	スミレックスくん煙顆粒 6g/100㎡ くん煙
	5月25日, 6月1日, 8日	ビコキシストロビン(メジャー)フロアブル 2000倍
	6月 9日	アファーム乳剤1000倍・スミレックス水和剤1500倍・オルトラン水和剤1000倍
作物なし:	7月30日	テロン 20L/10a 全面点注
	8月 5日	トシヨウビクリン 30L/10a 全面点注

写真1. 試験区ハウス全景



写真2. 草勢 (8月24日)



写真3. 草勢 (9月7日)



写真4. 薬剤処理区間の遮蔽幕



写真5. 無処理区



写真6. 無処理区



写真7. A区1回目散布時の株の状況



写真8. A区1回目散布時の果実



写真9. A区2回目散布時の果実



写真10. A区3回目散布時の果実



写真11. A区4回目散布時の果実



写真12. A区5回目散布時の果実



写真13. B区1回目散布時の株の状況



写真14. B区1回目散布時の果実



写真15. B区2回目散布時の果実



写真16. B区3回目散布時の果実



写真17. B区4回目散布時の果実



写真18. C区1回目散布時の株の状況



写真19. C区2回目散布時の株の状況



写真20. C区3回目散布時の株の状況



写真21. C区3回目散布時の花



写真22. C区4回目散布時の株の状況



写真23. C区5回目散布時の果実



写真24. C区6回目散布時の果実



写真25. C区7回目散布時の果実



写真26. C区8回目散布時の果実



写真27. C区9回目散布時の果実



写真28. C区10回目散布時の果実



写真29. D区1回目散布時の株の状況



写真30. D区1回目散布時の果実



写真31. D区2回目散布時の果実



写真32. D区3回目散布時の果実



写真33. D区4回目散布時の果実



写真34. D区5回目散布時の果実



写真35. D区6回目散布時の果実



写真36. E区1回目散布時の株の状況



写真37. E区1回目散布時の果実



写真38. E区2回目散布時の果実



写真39. E区3回目散布時の果実



写真40. E区4回目散布時の果実



写真41. E区5回目散布時の果実



写真42. E区6回目散布時の果実



写真43. A-1の大きさ

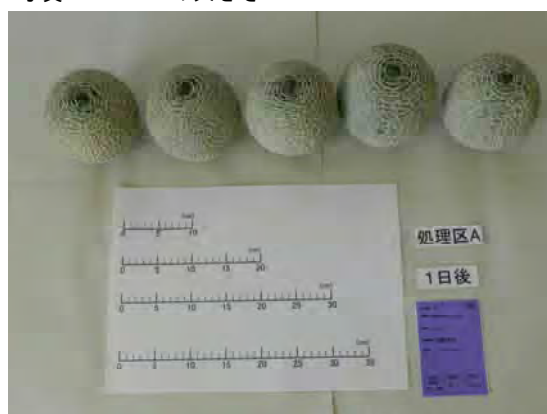


写真44. A-2の大きさ

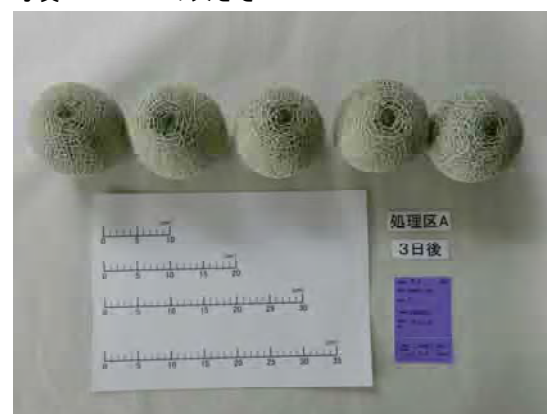


写真45. A-3の大きさ

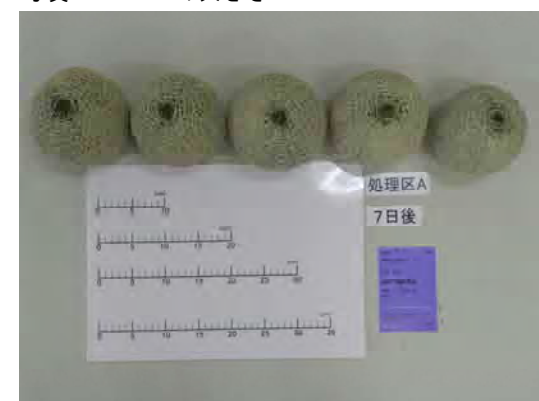


写真46. B-1の大きさ

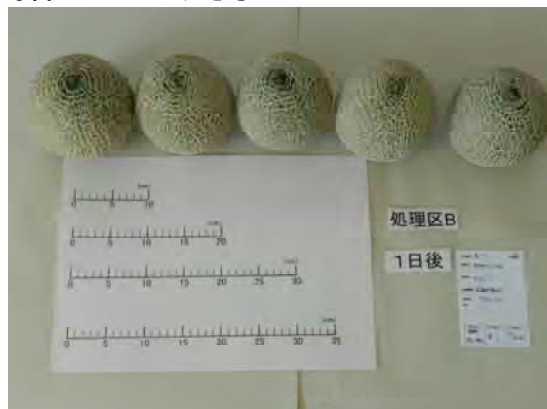


写真47. B-2の大きさ



写真48. B-3の大きさ

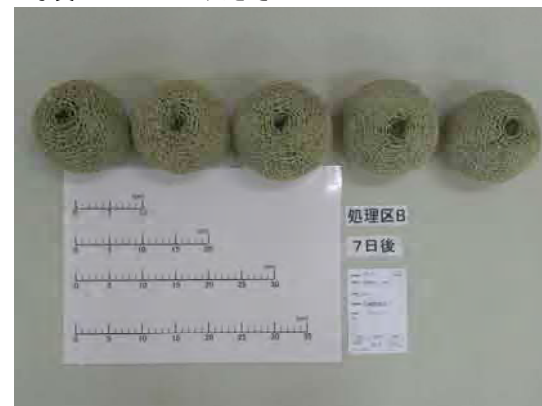


写真49. C-1の大きさ



写真50. C-2の大きさ

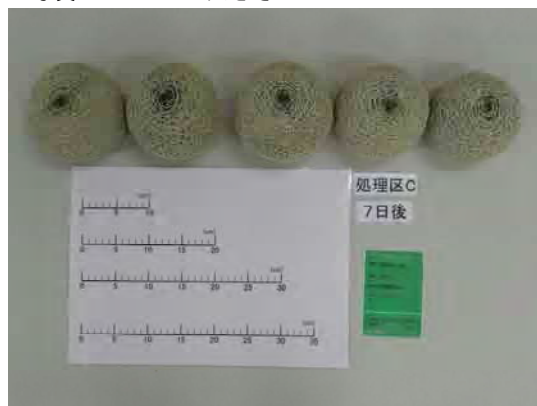


写真51. C-3の大きさ

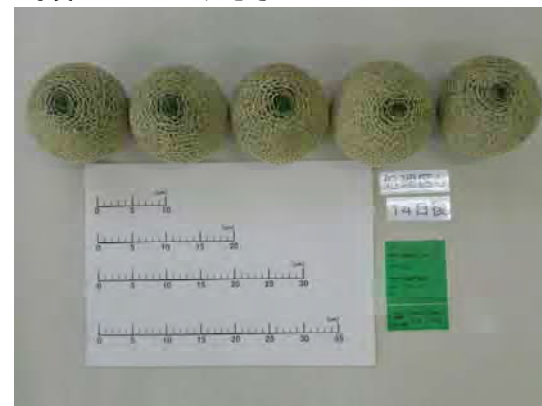


写真52. D-1の大きさ



写真53. D-2の大きさ

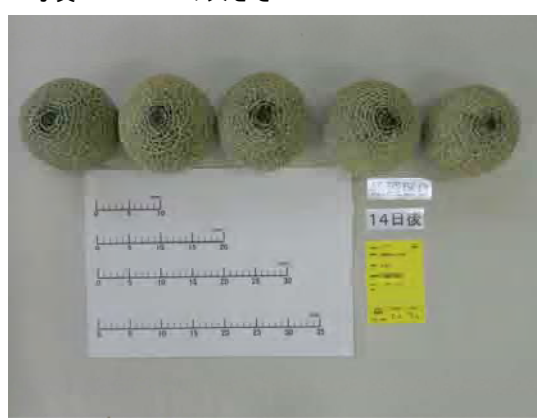


写真54. Eの大きさ



写真55. F (無処理) の大きさ



写真56. 採取状況

